

第1回 経営発達支援計画事業評価委員会 会議録

- 1 招集通知 令和7年2月5日(水)
- 2 開催日時 令和7年2月28日(金) 13:27~14:11
- 3 開催場所 瀬戸内市商工会 会議室
- 4 出席者 9名
委員長 長岡 秀樹(商工会副会長)
副委員長 石田 茂樹(商工会副会長)
委員 藤井 雅司(経営支援事業委員会委員長)
神坂 俊規(地域振興事業委員会委員長)
山本 信幸(青年部長)
内藤 志保子(女性部長)
青木 潔(瀬戸内市産業建設部産業振興課課長)
谷村 和也(日本政策金融公庫上席課長代理)
オブザーバー 福崎 勇(商工会会長)

5 議長 長岡 秀樹

6 協議事項

- (1) 正副委員長の選出について
- (2) 令和6年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について
- (3) 令和7年度「経営発達支援計画」に基づく事業の取組みについて
- (4) その他

7 議事の経過と結果

(開 会)

定刻に至り、司会者(石原事務局長)が経営発達支援計画事業評価委員会を開催する旨を宣した。

司会者は福崎会長に挨拶を求め、福崎会長が挨拶を行った。

(協議事項)

(1) 正副委員長の選出について

事務局(石原事務局長)は、本会の役員改選に伴い本委員会の委員が新たに委嘱されたため、委員会規程第4条により、委員長及び副委員長各1名を互選により選出することとなっている旨を説明した。

神坂委員から、「事務局案があれば提案をお願いします。」との発言があり、事務局（石原事務局長）は、「委員長に長岡秀樹氏、副委員長に石田茂樹氏を提案します。」と発言した。

出席委員から、「異議なし」の発言があり、全員挙手にて承認され、委員長に長岡秀樹氏、副委員長に石田茂樹氏が選任されることが決定した。

（議長就任）

司会者（石原事務局長）は委員会規程 6 条により、長岡委員長に議長就任を求め、長岡委員長が議長に就任した。

続いて、司会者は委員長に開会の挨拶を求め、長岡委員長が挨拶を行った。その後、司会者は、外部委員（日本政策金融公庫及び瀬戸内市）に自己紹介を求めた。

（協議事項）

（2）令和 6 年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について

長岡委員長は、「（2）令和 6 年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局（佐藤）は資料 1、参考資料 1、2、3 により説明した。

長岡委員長は、このことについて意見を求めたところ次の発言があった。

＜発言要旨＞

神坂委員：首都圏への需要の開拓に関し、アンケート調査の具体的内容について聞きたい。

事務局（佐藤）は、具体的内容について、価格、パッケージ、試食の感想等の項目及び集計方法等について説明を行った。

議長は出席者に、その他意見を求めたところ、特に発言はなく挙手にて承認された。

長岡委員長は「（3）令和 7 年度「経営発達支援計画」に基づく事業の取組みについて」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局（佐藤）は資料 2 により説明した。

長岡委員長はこのことについて意見を求めたところ次の発言があった。

＜発言要旨＞

福崎ブザー：実施内容としては令和 6 年度と同じであるが、追加項目があるのか。

事務局（佐藤）：DXに関する支援が追加となっており、専門的分野となるので個別相談会等を計画している。

谷村委員：事業計画策定業者数が50社とあるが、令和6年度の実績と比較すると乖離があるのではないか。

事務局（佐藤）：令和6年度は補助金公募が少なかったことあり、策定事業者数が少なかった。事業計画を策定した事業者は、融資に繋がるフォローアップが可能であり継続的に策定支援を実施する。

神坂委員：今までの補助金の効果について教えてほしい。

事務局（佐藤）は、小規模事業者持続化補助金に係る販路開拓（チラシの活用）及び設備導入に関する効率化について説明を行った。また、山本委員より岡山県BCP補助金の活用に関し発言があった。

山本委員：景況調査対象者の20社については、県内の事業者となるのか。

事務局（佐藤）：瀬戸内市内の20社を対象に調査を実施している。

議長は出席者に、その他意見を求めたところ、特に発言はなく挙手にて承認された。

長岡委員長は「（4）その他」について、何かないか諮ったところ、特に発言はなかった。

（閉 会）

司会者は閉会の挨拶を石田副委員長に求め、石田副委員長は閉会の挨拶を述べた。時に14時11分であった。